



新橋小学校

学校だより

令和元年11月29日

令和元年度 第8号

心温まる新橋小の子ども達

校長 樋渡 典子

今年のカレンダーも残り1枚になりました。8月末夏休みが終わり、暑さ対策に明け暮れた運動会、好天の中全校で出かけたなかよし遠足、各学年での校外学習や出前授業等も多くありました。充実した学習活動が行われ、子ども達は多くの事を学び、成長につながったことと思います。

私の毎日の日課の中で、朝は緑門に立ち、登校する子ども達と朝のあいさつを交わしています。日中は出来るだけ毎日校内をまわり、子ども達の様子を見ています（難しい日もありますが）。その中で、感心する場面、笑顔になる場面など、素敵な子ども達に出会う場面がたくさんあり、私の心は毎日ぼかぼかです。



心をこめてありがとうの会より

教室に入った私に気が付き、にこっと会釈をしてくれる子が多く、子ども達の心の温かさを感じます。中には、自席から「校長先生こんにちは」と元気なあいさつをくれる子もいます。「こっちに来て」と言いたいのか、笑顔で手招きをする子もいます。教室から出ようとする私に「寂しいからもう少しいて」と声をかける子がいた時には、もうキュンとして、時間を考えず滞在したくなります。

家庭科室に行くと調理実習中です。どの班も声を会かけ合いながら協力して作業を進めています。ある班では、ホットケーキを裏返そうと悪戦苦闘している子に、隣で調理している子が「少し斜めにするといいよ。」と、リンゴを煮ている鍋を器用に振りながらアドバイスをしていました。アドバイスはもちろんのこと、鍋を振る慣れた手つきにも感心しました。

他の教室では、教卓にプリントを提出し終えたあと、床に落ちている巾着袋やごみを拾い、整理整頓しながら自席に戻る子がいました。自然なしぐさと爽やかな表情を見て、私も気持ちよく教室をあとにしました。

子ども達の素敵な場面に出会うたびに、その姿からご家庭のみなさまの姿が浮かびます。もちろん学校でも、日々の学校生活の中で様々な指導を重ねていますが、自然にあいさつの言葉が出る、相手のことを思い大切にできる、笑顔で生活ができる、それらの行動はご家庭での保護者のみなさまとの毎日が根底にあることを感じています。

新橋小学校では、12月を「人権月間」として、「相手の気持ちや立場を考える」「自分も他人も大切にする」「誰にも公正・公平にふるまう」態度を育む活動に取り組みます。子ども達だけでなく、私自身も「誰もが安心して豊かに生活できているか」を改めて考える機会にしていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、今年もありがとうございました。来年も子ども達の笑顔のために、職員一同力を合わせて取り組みます。変わらぬご協力をお願いいたします。